

令和6年度 茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会
7月定例会 議事録

1 日時	令和6年7月10日(水)午後3時30分～午後5時00分
2 場所	市役所本庁舎4階 会議室1
3 出席者	三觜会長、林副会長、高山副会長、零石会計、前田監事、篠原監事 越川善雄、森章雄、二木健夫、丸山泰、岡崎敏一、南栄美子、吉野浩二、 木下操、貴島義夫、森繁、細田勲、城田誠、三浦一浩、渡邊勇次、朝倉哲男、 金子芳郎、鈴木健司、長嶋憲治、村越安芳、石井義雄の各委員 市民自治推進課(三浦課長、竹井課長補佐、杉本主事、片原主事) 事務局(高木)
4 会議の経過	<p>事務局より、26名全員が出席、会議が成立することを報告した。</p> <p>(1) 開 会 林副会長 (2) あいさつ 三觜会長 (3) 議題</p> <p>① 会報誌「まちぢから第10号」の発行について 事務局より説明 各地区からの原稿をもとに会報誌「まちぢから10号」を自前編集した。本日最終確認後、印刷発注し、7月19日に各施設・コミセンに納品予定。今年度の市の広報紙と同じ部数。自治会員以外の方にも提供できるよう、各施設に配架する。</p> <p>② 先進都市視察研修について 事務局より説明 視察先は調整中。10月22、23、24日のどれかで日帰り予定。決まり次第委員にはメール・文書で連絡。現時点では、予算一人3000円程度。</p> <p>③ 新旧委員懇親会について 事務局より説明 本日の定例会後に、退任された方の表彰を行う新旧委員懇親会を開催。まちぢから協議会から表彰状・図書カードを贈呈予定。市長からは感謝状、自治会長を退任された委員に対しても、感謝状をお渡しする。</p>

④ その他

事務局より説明

- ・今年度の防災部会・広報部会の部会員名簿配布。必要に応じて部会を開催していく。
 - ・毎月の定例会後に配布する議事録については、今後は概要版を配布。ホームページにも掲載予定。
 - ・毎月の犯罪発生状況の資料配布。
 - ・NPOセカンドワークからのホームページのアクセス状況報告。
- ・6月15日に開催された情報交換会について。

市民自治推進課より説明

6月15日の情報交換会では、3つのテーマについて協議をいただいた。アドバイザーからは、まちぢから協議会が担っていることは多岐にわたること。制度の見直しについては、庁内の調整が最大の課題であることを指摘された。今後の制度の見直しについては、今後のスケジュールを示す。引き続き議論を進めたいが、アンケートを取らせて頂きたい。11月に中間発表。3月に市の考えや方向性を示す。

【意見】

アンケートで何をまとめればいいのか。委員だけでいいのか、集約した方がいいのか。期日はいつまでか。全部で400人くらいになるが、それを全部まとめるのか。ある程度時間をかけていくべきではないか。交換会に参加者が2回も同じことをしていたらわからなくなる。どちらのアンケートが重要なのか。認定区域について、教育委員会がNOと言えれば何もできない。方向性、議題をもう一度調整しなくてはいけない。

【市民自治推進課対応】

アンケートは、委員個人に回答していただく。とりまとめる必要はない。情報交換会に出ていない方々のご意見も吸い上げたいということでアンケートを用意した。アンケートは内容的にもう一度検討していく。委員の意見を踏まえ、審議会の先生とも相談しながら、役員会等で意見交換をし、今後の進め方を考えていく。11月をひとつの目標として調整していきたい。

(4) 行政からの依頼事項等について

① (仮称) 茅ヶ崎市デジタル田園都市構想総合戦略(素案)について

総合政策課案件：市民自治推進課より説明

総合政策課によるパブリックコメント実施の情報提供。

② 茅ヶ崎市介護予防・日常生活支援総合事業担い手研修の受講者募集チラシについて

介護保険課より説明

介護の担い手不足を解消するため、「生活援助員研修」を実施。研修修了者は、介護度の軽度の方々の日常生活をサポートする資格が取れる。チラシの回覧方法について、昨年度の配布方法のやり取りにうまくいかない事例があり、今年度は配布方法を変更し、自治会長様宛にまとめて送付させていただきたい。

【意見】

回覧担当者がいるにも関わらず、なぜ自治会長宛に送付するのか。自治会長の仕事がまた増えてしまう。昨年度、回覧担当に行き渡らなかった事例は、市内部の情報共有もできてないのではないのか。人材不足ということだが、去年と同じフォーム、同じ内容なら、何も変わらない。ボランティアセンターの方の連携はどう図れるのか。市の広報紙にまとめられないのか。お金の問題、チラシのアイディアの問題、配布の仕方、行政内部の情報共有、広く募集するというのに自治会だけ配布でいいのか、研修を受けるのに実務には就かない等、多々問題にぶつかるが検討していただきたい。

【課対応】

配布方法については、これで決まりではないので、昨年通りでということであれば、課としてもそれで進めていく。市の広報紙面には載せるものの、大きさに関しては制限もあり難しい。チラシの内容については検討していく。ボランティアセンター、地域福祉課とも連携を図っていく。

③ 各コミセン、各地区からの連絡事項

・それぞれ活動報告。

(5) 閉 会 高山副会長